

観光客へのおもてなし

春の町内一斉清掃実施

本格的な観光シーズンを前にして、町内の清掃活動が、各団体によって行われ、家の回り、幹線道路や洞爺湖湖畔などのゴミや空き缶などを拾い、観光客を迎い入れる体制を整えました。

4月15日には(日)、虻田地区衛生協会(沼田光博会長)の呼びかけで、虻田地区の自治会が雪の降る寒い中清掃活動を行いました。

また、洞爺地区でも4月25日(水)自治会が中心となり、早朝に町内の清掃活動を実施しました。

4月17日にも虻田高校の商業科2、3年生約30人が、洞爺湖温泉の清掃活動を行い、温泉街



洞爺地区の清掃活動



薬師の湯の掃除をする虻田高校生

の美化に一役買いました。同校では、観光一般という授業があり、その一環として、「景観作りの役に立ちたい」と始められたもので、この日は、



虻田地区衛生協会の清掃活動

湖畔や足湯、薬師の湯などの清掃を行いました。洞爺湖温泉飲食店組合(秋田康夫会長)も同日、会員約20人が参加して、柳川通、四十三通メイン通の道路の清掃活動に汗を流していました。

4月28日のゴールデンウィーク初日には、恒例となっているF M北海道主催の「MOVE洞爺湖2007」が、地元を含め道内から約300人が参加して開催。晴天の下パンジー、ビオラなど約5、000株の植栽や湖畔、中島での清掃活動、彫刻の清掃などを各グループに分かれて行い、参加者は、意義あるゴールデンウィークを過ごしました。

次の日の29日にも、町が主催する春のクリーン作戦が、町職員はじめ町議会や老人クラブ、社会福祉協議会など10団体の協力を得て実施し、町内全域をくまなく清掃。タイヤなど大型ごみの投棄が見受けられました。



道道のゴミ拾いをする飲食店組合の皆さん



MOVE洞爺湖で彫刻を清掃する参加者



春のクリーン作戦で清掃活動